

#### 4. 狭隘な箇所の施工歩掛

##### 4-1 適用範囲

路体・路床・築堤等の工事において施工幅員が4m未満の狭隘箇所の作業で標準機種では施工が困難な場合に適用する機種・規格は次表のとおりとする。

表4.1 機種の選定

作業	施工幅員 (W)	機械名	規格
敷均し	$2.5\text{m} \leq W < 4.0\text{m}$	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t級
	$W < 2.5\text{m}$	人力土工	「第II編第1章土工⑥-1人力土工 (土砂)」 3-5人力盛土 (埋戻し) による
締固め	$1.0\text{m} \leq W < 4.0\text{m}$	振動ローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t
	$W < 1.0\text{m}$	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8~1.1t

(注) 1. 上表により難しい場合は別途考慮する。

2. 振動ローラは賃料とする。

##### 4-2 日当り作業量

各作業の日当り作業量は、次表を標準とする。

表4.2 敷均し作業の日当り作業量 (1日当り)

作業	工種	機械名	規格	単位	数量
敷均し	路体 路床 築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t級	m <sup>3</sup>	117

(注) 敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。

表4.3 締固め作業の日当り作業量 (1日当り)

作業	締固め度期待値	機械名	規格	単位	数量
締固め	路床並	振動ローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	m <sup>3</sup>	90
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	"	50
	路体・築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	"	108
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	"	63

##### 4-3 補助労務

敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。

表4.4 機械補助労務 (100m<sup>3</sup>当り)

名称	単位	数量
普通作業員	人	0.33

#### 5. 残土受入れ地での処理

##### 5-1 適用範囲

本資料は、工事により発生した残土の平地における処理作業を行う場合に適用する。

なお、締固め作業を行う必要がある場合は、別途考慮する。

##### 5-2 機種の選定

ブルドーザ排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通15t級を標準とする。

平成25年10月1日以降~平成26年4月29日迄起工適用

#### 4. 狭隘な箇所の施工歩掛

##### 4-1 適用範囲

路体・路床・築堤等の工事において施工幅員が4m未満の狭隘箇所の作業で標準機種では施工が困難な場合に適用する機種・規格は次表のとおりとする。

表4.1 機種の選定

作業	施工幅員 (W)	機械名	規格
敷均し	$2.5\text{m} \leq W < 4.0\text{m}$	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t級
	$W < 2.5\text{m}$	人力土工	「第II編第1章土工⑥-1人力土工(土砂)」 3-5人力盛土(埋戻し)による
締固め	$1.0\text{m} \leq W < 4.0\text{m}$	振動ローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t
	$W < 1.0\text{m}$	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8~1.1t

(注) 1. 上表により難しい場合は別途考慮する。

2. 振動ローラは賃料とする。

##### 4-2 日当り作業量

各作業の日当り作業量は、次表を標準とする。

表4.2 敷均し作業の日当り作業量 (1日当り)

作業	工種	機械名	規格	単位	数量
敷均し	路体 路床 築堤等	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t級	m <sup>3</sup>	104

(注) 敷均し作業の仕上り厚さは0.2~0.3mとする。

表4.3 締固め作業の日当り作業量 (1日当り)

作業	締固め度期待値	機械名	規格	単位	数量
締固め	路床並	振動ローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	m <sup>3</sup>	80
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	"	44
	路体・築堤等	振動ローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	"	96
			ハンドガイド式 0.8~1.1t	"	56

##### 4-3 補助労務

敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。

表4.4 機械補助労務 (100m<sup>3</sup>当り)

名称	単位	数量
普通作業員	人	0.38

#### 5. 残土受入れ地での処理

##### 5-1 適用範囲

本資料は、工事により発生した残土の平地における処理作業を行う場合に適用する。

なお、締固め作業を行う必要がある場合は、別途考慮する。

##### 5-2 機種の選定

ブルドーザ排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通15t級を標準とする。